

新燃料「RPF」に独自の品質基準を制定



古紙と廃プラスチックを固めた新燃料「RPF」のメーカーで構成される日本 RPF 工業会は、来春をメドに業界独自の RPF 品質基準を制定します。今年 3 月の工業会設立と同時に定めた暫定基準を改め、含有物質などの基準値をさらに厳格化し、粗悪品が市場に出回るのを防いで、新燃料への信頼性を高めます。

新基準は、燃料に RPF を使ったボイラーが腐食する原因となったり、不完全燃焼でダイオキシン類を発生させたりする塩素分の基準をまず改定します。重さ 1kg 当りの熱量が 6000kcal 級の石炭代替用 RPF の場合、含有率を暫定値の 0.22% から 0.2% に厳しくする方向で調整しています。同様に硫黄分(全硫黄)も 0.06% から 0.05% へ変更されます。RPF は価格が割安で安全性も高く、製紙業界向けを中心に石炭代替用の需要が急増中ですが、同工業会は今後、まだ遅れている法的な品質管理規定の整備なども関係省庁に求めていく方針です。

資料: 2003 年 10 月 16 日付 日本工業新聞

生活環境箇所 杉山 浩史

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
U R L : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

